

令和7年度

北山小学校グランドデザイン

《縄文のビーナスプラン1》

～みんなが縄文のビーナスのように
輝くことを願って～

「みんな同じ」から一人ひとりの多
様性と力・よさを伸ばす教育へ

- ・生き方教育 ・調べる学習コンクール
- ・読書・図書館教育 ・キャリアパスポート
- ・ICT教育 ・特別支援教育
- ・子どもサポートセンター（ミニサポートルーム）
- ・縄文・市民科

茅野市の特色ある教育

《心のよつばの クローバープラン》

《児童のよさ・課題》

- ・素直でのびのび
- ・仲がよい・優しい
- ・見ている世界が狭い
- ・伝える事が苦手

《茅野市の教育》

21世紀を切り拓く 心豊かで
たくましく、やさしい、夢のあるひと育ちの教育
～自分の人生・自分たちが生きていくまちの未来をえがく教育～

学校教育目標

純朴にして たくましい子ども

～北山を愛し、
北山に誇りを持つ子どもの育成～

《茅野市小中学校で大事にすること》

子ども理解 授業改善 学級づくり
(学びの集団づくり)

《北部中学校区9年間の目標》

夢に向かってたくましく
生き抜く子ども

・「考える力」を育む授業づくり

《縄文のビーナスプラン2》

北部中学校区の特色ある学び

北中区の豊かな自然・文化



探究力 自らの願いをもとに
「なぜ？」追究し続ける子ども
(縄文・市民科 生活 総合)

《研究テーマ》

子どもが子ども同士の言葉で、
学び高め合う授業づくり

育みたい子どもの姿

自分で考え行動する

一人になれる一つになれる

人も自分も大切にする

《取り組みの具体》

『一人になれる一つになれる子ども』を育むために

○「わかる」「できる」学習

- ・学力差や得意不得意に応じた学習
- ・視覚支援 学びの足跡が見える板書
- ・学び直しによる基礎学力の定着
- ・日常的なICTの活用
- ・複数の職員で育む教科担任制

○みんなが生活しやすい環境づくり

- ・時間・ルールを守る行動の習慣化
- ・受け止め、自ら考えさせる指導
- ・教師自ら、気持ちのよいあいさつ
- ・連学年で子どもたちを育む

『自分で考え行動する子ども』を育むために

○「自ら考える」授業

- ・「願い」や「問い」から出発する追究
- ・子どもが自ら動く環境構成
- ・友だちと考える場面の日常化
- ・「ことば」と「こころ」を育む読書・
図書館教育（調べる学習コンクール）
- ・互いに学びあう職員集団

○子ども達がつくる学級・学校生活

- ・育ちにつながる学級活動・行事
- ・自身の力を試す児童会等の活動
- ・心のゆとりを持つための業務改善

『人も自分も大切にする子ども』を育むために

○一人を大切にする支援

- ・支援会議で具体的方策を見出す
- ・自己肯定感を高める言葉がけ
- ・いじめが起きない・見逃さない体制
- ・子どもを大切にする言葉遣い・伝え方
- ・所属感と居場所づくり（サポートルーム）
- ・自分を認める振り返り（キャリアパスポート）

○人とのつながりのなかで学ぶ

- ・幼保小中の連続的な支援
- ・縦割り班・姉妹学年による交流
- ・お互いのよさを認め合う場づくり

全ての職員で、全ての子どもを育てる（一人ひとりの多様性とよさをとらえ、伸ばす）

縄文のビー
ナスプラン1

ふるさと「北山」に学ぶ（地域に生まれ、地域とともに成長する子ども）

- 地域に出かけ、教室で学べない事を五感で感じる 探究的な学びの実践（縄文・市民科）
- 地域の課題に向き合い、地域のために出来ることに取り組む
- 地域の「ひと」「こと」「もの」に学ぶ 北山の素材を教材化した授業実践

縄文のビー
ナスプラン2

《地域・保護者との連携》

《家庭教育・PTA》

- ・基本的な生活習慣の確立
- ・PTA諸活動の協力・連携

《北山小コミュニティ・スクール》

- ・地域の方々と共に、子どもを育てる
- ・学校支援ボランティアによる支援

《外部諸団体》

- ・子ども家庭センター 民生児童委員
区長会 各ボランティア団体との連携

《今年度の重点》

自分の言葉で伝えよう
自分の考え 友だちのよさ